

# 血液



### 血液の働き

「赤血球」「白血球」「血小板」の値が高過ぎたり低過ぎたりしないかを見ます。

血液にはいろいろな働きがあるんですね。

**赤血球**

肺で受けとった酸素を体の隅々まで運び、二酸化炭素を受けとって肺まで運ぶ。

**白血球**

病原体が入ってくるとはいじよ排除し、体を守る。

**血小板**

ケガなどで血管が損傷すると真っ先に集中して粘着ねんちやく傷口を塞いで止血する。ふさ

## どんな病気になるの？

## 血液の数値異常は、病気のシグナル

**赤血球** 数値が高いと多血症が疑われ、少ないと貧血になります。原因は鉄分不足が多く、胃潰瘍や痔、胃がんや大腸がんなどの病気が隠れていることがあります。

**白血球** 数値が高いと白血病などの血液の病気や感染が疑われ、低いと血液の病気や自己免疫疾患が見つかることがあります。

**血小板** 値が70万以上で血液疾患が疑われ、値が10万を切った場合は、血液疾患や肝疾患などが見つかる場合があります。

血液の数値異常は、血液の病気以外にも様々な病気のサインなので、検査の結果が要医療となったら、内科の先生に相談してください。

白血球の数値が高いと白血病をイメージする人もいますが、実際に白血病であることはまれです。数値が高くても必要以上に心配することはありませんが、検査を受けましょう。肥満や喫煙でも高くなります。



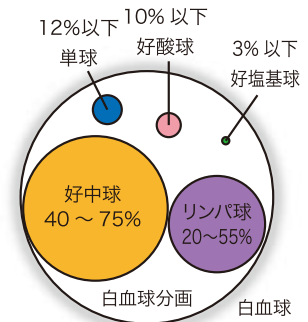
## 白血球分画って？

## それぞれの比率で様々な病気がわかる

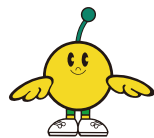
白血球とは、5種類の白血球（好中球、リンパ球、単球、好酸球、好塩基球）を総称しているもので、この白血球の構成割合を白血球分画といいます。

これらの分画にはそれぞれ異なる役割があり、正常時にはそれぞれの占める割合が一定範囲内に保たれていますが、体になんらかの異常が発生すると、お互いの比率が変化します。

白血球分画を調べることで、感染・アレルギー・白血病・がんなど様々な病気の診断に役立ちます。



## キビタン解説



胃に感染するピロリ菌が、胃潰瘍や胃がんの原因となることは、よく知られているよね。血液の病気とピロリ菌は何の関係もないように思われるけど、実は最近の研究で関係あることが報告されたんだ。

鉄が足りなくなると貧血になる鉄欠乏性貧血はとても多い病気だけど、主に小児ではピロリ菌のために鉄をうまく吸収できなくなることがあるんだ。その場合は、ピロリ菌を除菌することで貧血が良くなるんだ。他にも、血小板数が低下する病気でピロリ菌を除菌することで良くなるがあると報告されているよ。

## ピロリ菌と血液の関係

